



松浦常雄議員

Q 幼小統合後の教育を どう図るのか

A 指導主事を置き一貫 教育の充実を進める

一般質問

問 小学校の学力、体力の状況は。

次長 6年生の学力は、国語、算数

とも全国平均より「やや低い」成績であり、5年生は、国語、算数、理科とも全国平均より、「やや高い」成績である。体力は高学年で全国平均に対し下回っている。

問 中学校の学力の状況はどうか。

次長 全学年全教科とも全国平均以上である。

問 いじめ、不登校等生徒指導上の状況は。

次長 いずれも「無い」との報告を受けている。

問 小学校の施設整備状況と今後の課題は。

次長 24年度はプールの高架水槽や展望塔の改修を行った。25年度はベランダの改修と校舎外壁の塗装工事を行う。

問 幼小中の連携をどのように図っていくのか。

次長 これまでも幼稚園から小学校、小学校から中学校への入学時期に起こりやすい学校生活や学習、部活などでの不応の解消に努めてきた。今後は幼小中1校となった良さを生かして更に対応を工夫する。

問 新たに教育委員会に配置する指導主事をどう活用していくのか。

次長 学校訪問等を通じて指導助言を行わせ、より一層の幼小中連携による一貫教育の充実を図っていく。

企業誘致と商店街活性化の推進 方策は

問 活力ある町づくりには、人口流出を止め、若者が町内で働ける場が必要である。そのため、企業誘致が欠かせない。企業誘致をどうするのか。

町長 町内に未活用の工場用地が3区画ある。当面はこの用地への企業誘致を図っていく。このため町内の主要企業との懇

談会や県の企業誘致懇談会と連携を図りながら積極的に対応していく。

問 専門班を庁内に設置するのか。

町長 新たに、「まちづくり推進交流室」を設置し、県からの職員を含め3名を配置する。

問 活力のある町づくりに商店街の活性化も欠かせない。どのように進めるのか。

町長 「まちづくり交流推進室」に専門家による仮称「まちづくり検討委員会」を立ち上げ「交流の場」や商店街活性化策も含めた様々な分野のマスタープランの策定を進める。



町の活性化へ桜ライトアップ(観月台公園)

一般質問

Q道の駅計画は中止か

A町民交流の場として平成28年春を目指す

問

町は道の駅実
施設を設計業
者と3月納期で契約を
していたが、1月末で
契約を中止し打ち切っ
た。経過について説明
がなかったが。

進めていく。

問

町長は選挙の
公約で町民との
交流の場の設置を掲げ
ている。交流の場とは
どんなものなのか。

産業振興課長

道の駅に
付加価値
をつけて町民の交流の
場、さらには、農商工二
体となった施設として

町長

25年度設置予
定の仮称「まち
づくり検討委員会」で
十分検討のうえ、詳細
は決定していただく。



阿部泰藏議員

財源は、復興支援と
国・県の補助制度を勘
案しながら、検討して
いく。

問

道の駅計画は
長い期間が経過
した。今後、交流施設
はいつ頃完成か。

産業振興課長

国道4号
4車線化事
業と同時進行で進めて
いく。平成28年3月完
成を目指す。

町道陥没事故を 防げないか

問

震災による町
道の亀裂や陥没
がある。平成24年度の
町道修繕工事の状況は、

建設課長

災害復旧を含
め104件、事
業費は7,415万4
千円である。

問

町道の修繕計
画はあるのか。
特にない。

問

町の修繕は舗
装の継ぎはぎと
穴埋めだ。もっと大規
模な修繕はできないの
か。

町長

最少のコスト
で安全を確保し
ていく。



道路監視員による道路修繕(徳江字仏供田地内)

問

24年度、町道
陥没によって、
2箇所ですらに損傷を
与えた。この事態を防止
するために道路点検は
重要だ。今後の点検体
制について伺う。

建設課長

25年度から県
の緊急雇用創出
事業で道路監視員を2
名雇い、道路点検体制
を強化する。

問

町内にある橋
梁は安全か。

建設課長

平成23年度に
全橋梁について
点検をし、修繕計画を
作成している。

問

平成25年度の
町内会で行う側
溝の清掃や除草は実施
するのか。

建設課長

仮置き場が早
いうちに決定に
なれば実施する。